



夢追人VI

かとう学園 宗像市立河東中学校
学校通信第14号(R4. 6. 22)

夏の大会に向けて、各部活動・クラブチームの決意表明 Part4

河東中生徒は、部活動だけでなく社会体育・クラブチームに活動の場を求めて頑張っている生徒も多くいます。空手・柔道・新体操・水泳・ラグビー・フェンシング・野球・サッカーなど年々種目も増えてきました。同じ河東中の生徒の活躍として幅広く応援していきましょう。

【男子剣道部 重見 渉太さん】

こんにちは、男子剣道部です。男子剣道部の目標は去年達成できなかった県大会出場です。9年生は中学校生活最後の大会であり、7年生と8年生は9年生との最後の大会なので、限られた時間の中で1秒1秒を大事にします。今までやってきた稽古を信じて全力で1試合1試合を大事にし、剣道部の目標である県大会出場、そして最後には悔いが残らずみんなが笑って終われるように日頃の稽古から見直していきがんばっていきます。応援よろしくお願いします。



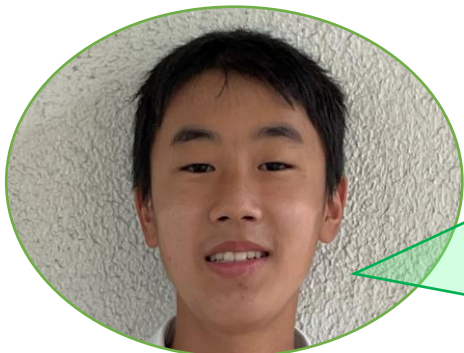
【女子剣道部 和多 こはくさん】

こんにちは!女子剣道部は今年の中体連も県大会出場を目指しています。剣道部は今年の中体連に向け、厳しくきつい練習の中、頑張ってきました。これまで数々の問題や壁に直面してきましたが、どんな時でも全員で向き合い、支え合って乗り越えてきました。そんな私にできることは、最高の舞台をつくることです。9年生はもちろんのこと、ここまでついてきてくれた後輩のみんなにも頑張ってもらえるようなそんな中体連にします。そして私たちは3年間の集大成として、たくさんの方々に感謝すると同時に素晴らしい試合にしましょう。河東中学校の皆さん、引き続き応援よろしくお願いします。



【卓球部 湯浅 陽介さん】

こんにちは、卓球部です。卓球部は7月2日と9日に中体連があります。そこでの目標は宗像地区大会で3位以内に入り、筑前地区大会に個人戦・団体戦ともに出場することです。この目標を達成するために今までやってきたことをもとに、応用練習に取り組んできました。また、大会を開催してくださった方々や保護者の方々に感謝の気持ちを込め、一人一人悔いのないよう最後まで頑張ります。団体戦では全員の気持ちを集めて精一杯頑張ります。応援よろしくお願いします。



【宗像ボーイズ 満川 脩さん】

こんにちは、宗像ボーイズです。僕たちは、6月11日・12日に行われた第53回全国大会の予選で優勝し、8月2日から大阪で行われる全国大会に出場します。全国大会まであと1か月近くあまりですが、1か月の中でも練習できる日には限られています。その中でも一つ一つの練習の意味を理解し最高の状態で全国大会という大きな舞台に臨みたいです。また、チーム40人全員で一丸となって取った全国大会への切符を無駄にせず、全国制覇という大きな目標に向かって頑張ります。応援よろしくお願いします。



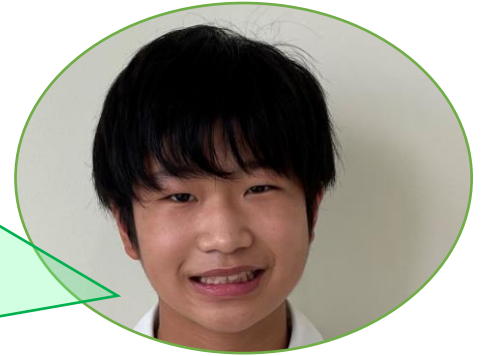


【 新体操部 内山 柚良さん 】

これから開催される中体連・夏季大会は、中学生になって初めての試合です。私たちは個人での試合の経験が少ないですが、毎日の練習を一生懸命頑張ることで成長できると思います。私たちの目標は、一日一日の限りある練習時間を大切に、周りの人へ常に感謝の気持ちを持ち、最後まであきらめずに取り組んでいくことです。これからは、この目標に向かって頑張っていきたいです。本番まで残り約1か月間、試合で自分の最大限の力を発揮できるように努力していきます。

【 柔道部 高口 怜桜さん 】

こんにちは。柔道で中体連に出場する高口怜桜です。現在、柔道で中体連に出場するメンバーは3人で、3人とも7年生です。他のメンバーは、山近笙真さん、栗原健太郎さんです。僕と山近さんは同じ道場で稽古をしていますが、栗原さんは別の道場で稽古に励んでいます。普段は異なる道場で練習している3人ですが、河東中代表として中体連に出場するからには、心一つにして河東中代表として勝ちに行く試合をお見せしたいと思っています。中体連の経験が一度もなく、まだまだ未熟な3人ですが、正々堂々と戦って、県大会出場を勝ち取りたいと思っていますので、応援よろしくをお願いします。



スポーツや文化・学習に理想を求める大切さ

～ トインビーが残した歴史の教訓 ～

各部活動とクラブチームの代表の言葉を学校だよりに編集しながら、つくづく河東中生徒を頼もしく思います。日々の活動を楽しみながら、いざ大会となると個人の全力とチームの総力を挙げて試合に臨み、作品作りにかける。今まで自分たちがチームとして作り上げた成果を精一杯発揮しようとしている。目の前の目標や理想を懸命に追い求めている。今はもちろん、この姿勢を10年たって大人になっても忘れずにいてほしいと心から思います。この気持ちが失われなければ、個人も家も地域も国家も成長し続けると思います。

逆に、この姿が失われることの警告をトインビーという歴史家がまとめているのを紹介します。

人類の4千年にわたる国家や文明の歴史の中で、たくさんの国が興り滅んできました。エジプト・メソポタミア・ローマ帝国・マヤ文明・唐や明などあげればきりがありません。

これらの世界の歴史を『歴史の研究』という全25冊（英語の原書は12冊）にまとめたのが、イギリスの歴史学者アーノルド・トインビーです。トインビーの残した言葉にこういうのがあります。

「一つの国が滅びるのは戦争によってではない。自然災害でもなければ、経済的にこわれるからでもない。国民の道德心が失われた時、その国は滅びる。」

彼は歴史を研究する中で、民族が滅亡する時には共通点があることに気がつきました。それを3つにまとめるとこうです。

- ① 理想を失った民族は滅びる。
- ② すべての価値を物やお金に置き換え、心の価値を見失った民族は滅びる。
- ③ 自国の歴史を忘れた民族は滅びる。

つまり、ここには国民に対して歴史の教訓からきびしい戒めが描かれています。理想を持つことの大切さ、心や道徳に価値を置くことの大切さ。そして、歴史を学ぶ意味。

これは、国・国家・文明について書かれたものではありませんが、個人や家にもあてはまるのではないのでしょうか。理想を持って生きる生き方。常に心を磨くこと。家族や先祖を大切に思うこと。日常、こうしたことを大事にすることが歴史から学ぶ意味ではないのでしょうか。

中体連やコンクール・クラブチーム選手権等に目標と理想を掲げて挑む河東中生には、トインビーも安心して見ていることでしょう。今の気持ちを大切に、いつまでも持ち続けてほしいものです。